

No. 13

かんきょう ニュース

令和 4 年度～令和 6 年度ごみ排出量の状況

令和 6 年度の家庭系ごみ排出量の状況を令和 4 年度、令和 5 年度と比較してみました。(4～11 月まで)

ごみ排出量比較表					
区分		単位	R4 (R4.4.1～11.30)	R5 (R5.4.1～11.30)	R6 (R6.4.1～11.30)
排出量	収集ごみ	t	1,382.2	1,231.6	1,502.5
	可燃ごみ	t	1,167.7	1,043.3	1,260.2
	不燃ごみ	t	34.5	26.5	43.0
	資源ごみ(缶・びん・ペットボトル)	t	65.0	57.0	75.8
	資源ごみ(古紙)	t	104.4	102.4	120.2
	粗大ごみ	t	10.6	2.4	3.3
	自己搬入ごみ	t	2,134.5	1,291.1	1,396.8
	可燃ごみ	t	1,802.0	1,089.8	1,172.6
	不燃ごみ	t	264.5	109.7	117.8
	資源ごみ(缶・びん・ペットボトル)	t	21.0	30.6	36.2
	資源ごみ(古紙)	t	47.0	61.0	70.2
	合計	t	3,516.7	2,522.7	2,899.3
	可燃ごみ	t	2,969.7	2,133.1	2,432.8
	不燃ごみ	t	299.0	136.2	160.8
	資源ごみ(缶・びん・ペットボトル)	t	86.0	87.6	112.0
	資源ごみ(古紙)	t	151.4	163.4	190.4
	粗大ごみ	t	10.6	2.4	3.3
	リサイクル率	%	6.8%	9.9%	10.4%

令和 6 年度のごみ排出量は、令和 5 年度より若干の増加傾向にありますが、制度改正前の令和 4 年度と比較すると大きく減少しています。また、令和 6 年度は、収集ごみの量が増えており、自己搬入でごみを出すという習慣が少なくなり、収集でごみを出すということが定着してきたように感じます。

さらに、令和 6 年度は資源ごみの量が増加しており、リサイクル率も上がっています。これは、町民の皆様の徹底した分別や拠点回収ボックスの利用増加によるものだと思います。

引き続き、リサイクルへのご協力よろしくお願いいたします！

◎制度改正前と制度改正後のごみ出しの変化



(制度改正前の状況)



(制度改正後の状況)

制度改正前は、リサイクルされるはずの段ボールが燃えるごみとして出されていましたが、制度改正後は、改善されて燃えるごみとして出されることが少なくなりました！

ごみ減量のためにできること

制度改正後、隠岐の島町のごみは大きく減少しましたが、島根県の他の市町村と比べると、まだまだごみの量は多く、リサイクル率も低い状況です。

さらなるごみの減量を目指すために、家庭でできることをはじめてみませんか？

3Rの実践

3R とは Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)のことで、資源の節約や廃棄物の有効利用を目指すものです。

○Reduce…減量しよう！

- ・詰め替えの商品を買う。
- ・使い捨て用品はなるべく使わない。
- ・マイボトル、マイカップを使用する。



○Reuse…繰り返し使おう！

- ・まだ使える物は人に譲る。
- ・できるだけ修理して長く使う。
- ・フリーマーケット等を利用してみる。



○Recycle…再資源化しよう！

- ・正しく分別する。
- ・環境に優しい商品を選ぶ。



できるものから実践してみましょう！

食品ロスの削減

食品ロスとは、本来食べられるのに捨てられてしまう食品のことで、日本では年間約 472 万トン(令和4年度推計値)、1人1日あたり約 103g(おにぎり 1 個分)の食品ロスが出ています。

食品ロスを無くすために生活を見直してみませんか？

～しまねの7ヶ条～

LOSSNON(ロスノン)を合言葉に食品ロス削減運動に取り組んでみよう！

- L** 冷蔵庫の中身をチェック後、お買い物
- O** 美味しく適量いただきます
- S** 週 1 は残り食材で作りましょう
- S** 新鮮なうちに下ごしらえ
- N** 並んだ商品、手前から
- O** 「0」のつく日(10・20・30)は冷蔵庫の食材チェック
- N** 残さず食べて、ごちそうさま

生ごみの削減

ごみの減量の鍵となるのが生ごみです。

生ごみは約 80%の水分を含んでおり、きちんと水切りをするだけで 10%もごみを減量できます。また、コンポスト等の利用で生ごみを堆肥化してごみを減量することができます。家庭ですぐに実践できるものもあるので生ごみの減量を今日から始めてみましょう！

①捨てる前にひと絞り



水切り器や水切りネットの活用も◎

②使えない部分を分けてから洗う



③捨てる前に乾燥



水分を多く含んだお茶がらやコーヒーかすは、1日乾燥させるだけで水分はほとんどなくなります。

④生ごみ処理機の利用

機械を使って簡単に生ごみを乾燥できます。令和6年度からは補助金事業も始めています。詳しくは、役場環境課までお問い合わせください。

